

# 議会運営委員会行政視察概要

令和2年1月30日（木）

於 豊島区議会 第2委員会室

午後1時30分 ～ 午後3時

## 1 調査の概要説明

…………… 豊島区議会事務局議会総務課長、総務課議会担当係長3名、  
総務課主任1名

### 「議会における災害時の対応について」

平成23年度に議会改革検討会（委員10名）の検討項目として、「緊急時の議会機能」について提案があり、東京23区の設置状況等を参考に、翌年度にかけて内容を検討し、「豊島区議会災害対策本部設置要綱」をまとめた。

平成26年9月と27年9月に、緊急連絡訓練を実施。26年は、固定電話による連絡、27年はタブレット端末を利用した通信訓練を行った。

実際に、要綱を運用した事例は現在のところない。昨年の台風19号接近時には、市の災害対策本部（縮小版）が設置され、議長と事務局長が出勤し、必要があれば幹事長に連絡するとしていたが、議会本部の設置には至らなかった。議会本部の設置基準については、改めて検討中である。

### 「障害者に配慮した議会体制等について」

平成28年、議会改革検討委員会において、障害者差別解消法の規定に基づく「合理的配慮」の提供義務に対処するため、「障害者に配慮した議会体制について」を検討項目とすることを決定。平成30年度にかけて計16回の協議を重ね、報告をまとめた。途中、全議員対象の勉強会の開催や、区の障害者団体連合会による議会施設見学会等も開催し、当事者からの意見聴取を行うなど、ソフト・ハードの両面について前向きに検討を行っている。

聴覚障害者の補聴器を補助する磁気ループシステムについては、議場の傍聴席への設置に加え、委員会室等でも使用ができる携帯型の磁気ループシステムを購



入し、傍聴者から希望があった場合に設置することができるようになっている。

AI を活用した音声自動文字起こしによる字幕表示について検討課題となっているが、賛否両論があり、結論には至っていない。

## 2 主な質疑応答

### 「議会における災害時の対応について」

問 平成 26、27 年の訓練の後、訓練が行われていないのは、なぜか。

答 平成 27 年のタブレット端末を活用した訓練の後、実際の災害の際に i-Pad を持って行動することはないのではないか、携帯電話を活用した訓練の方が現実的ではないかなどの意見があり、今後の訓練のあり方について模索をしているところである。

議員のうちの 3 分の 1 程度が消防団員を兼ねていたり、自治会の役員等をしている状況で、災害時に議会に参集できるのかという問題もあり、今後の体制等について、改めて検討をしていく必要を感じている。

問 明石市議会では、災害時の対応要領を作成した際、災害時に議員が個別に災害対策本部に問い合わせ等を行うと、本部の活動に影響を及ぼすことから、議会における情報は、議会で集約して本部に伝えることと規定したが、豊島区議会においては、どのような状況であったか。



答 昨年の台風 19 号の際に、区内 8 か所に避難所を設置したが、職員配置が足りておら

ず現場で対応できないので、直接本部に連絡を入れるという事態が発生した。

情報の集約というのは必要であると感じている。豊島区は、狭い区域に多くの人口が密集し、圧倒的に空地が少ないという特性がある。このような中、災害時に火災等が起こった場合などを考えると、災害時に機能できる体制を整えておく必要があると考え、議員の役割、議会の役割を改めて検討しているところである。

問 防災・減災に対する議員のポテンシャルを上げていく必要がある。議員の

防災力向上のための方策は。

答 区内在住の職員が少数である実情を考えると、災害時の自助力の向上は欠かせないと考えており、議員自身の自覚も必要と認識している。まだ、具体的な方策の検討には至っていない。

#### 「障害者に配慮した議会体制等について」

問 障害者団体への意見聴取後、障害者の方々の議会への関心は高まっているのか。傍聴者数はふえたか。アンケート結果を見ると、「傍聴する必要がない」と答えている人もいるが、どのような状況なのか。

答 議会に対しての興味がなかったわけではないが、それまでは議会に縁がなかったからではないかと考えている。施設見学会が終わった後、手話言語条例の成立の際には、当事者が本会議、委員会を傍聴される機会があった。

新庁舎に移ってから、委員会中継の視聴者数は従前の8倍近くなったが、障害のある方の視聴がふえたかどうかは、把握できていない。

問 AIを活用した字幕対応について、費用はどれくらいかかるのか。

答 まだ、費用の見積もりにまでは至っていないが、現状、手話通訳はNPO法人に委託し、1時間あたり9,900円(3人)かかっており、相当額の費用がかかっている。さらに、来年以降はこの額を値上げしたいという意向もあり、AIの活用を検討している。AIによる字幕を表示した場合、その後に作成する会議録等との整合性の問題がある。

問 区議会議員の中に障害を持った議員は、いるのか。多様な人材が議員として活躍できる環境づくりは、行っているか。

答 現状は、いない(議員36人)。女性議員比率が42%(15人)と高いのが特徴である。

議場内のバリアフリーは、今後さらに検討が必要であるとの声もあり、継続的に議論していく課題であると考えている。

以上